
II 確定拠出年金制度

1.確定拠出年金制度の概要

○確定拠出年金は、拠出された掛金が個人ごとに明確に区分され、掛金とその運用収益との合計額をもとに給付額が決定される年金。年金資産の運用は加入者自らが行う。(平成13年10月施行)

○加入者の転職等の際には、転職先の制度に年金資産の移換(ポータビリティ)ができる。

○企業ごとに実施する企業型年金と、国民年金基金連合会が実施し個人単位で加入する個人型年金がある。

<特 徴>

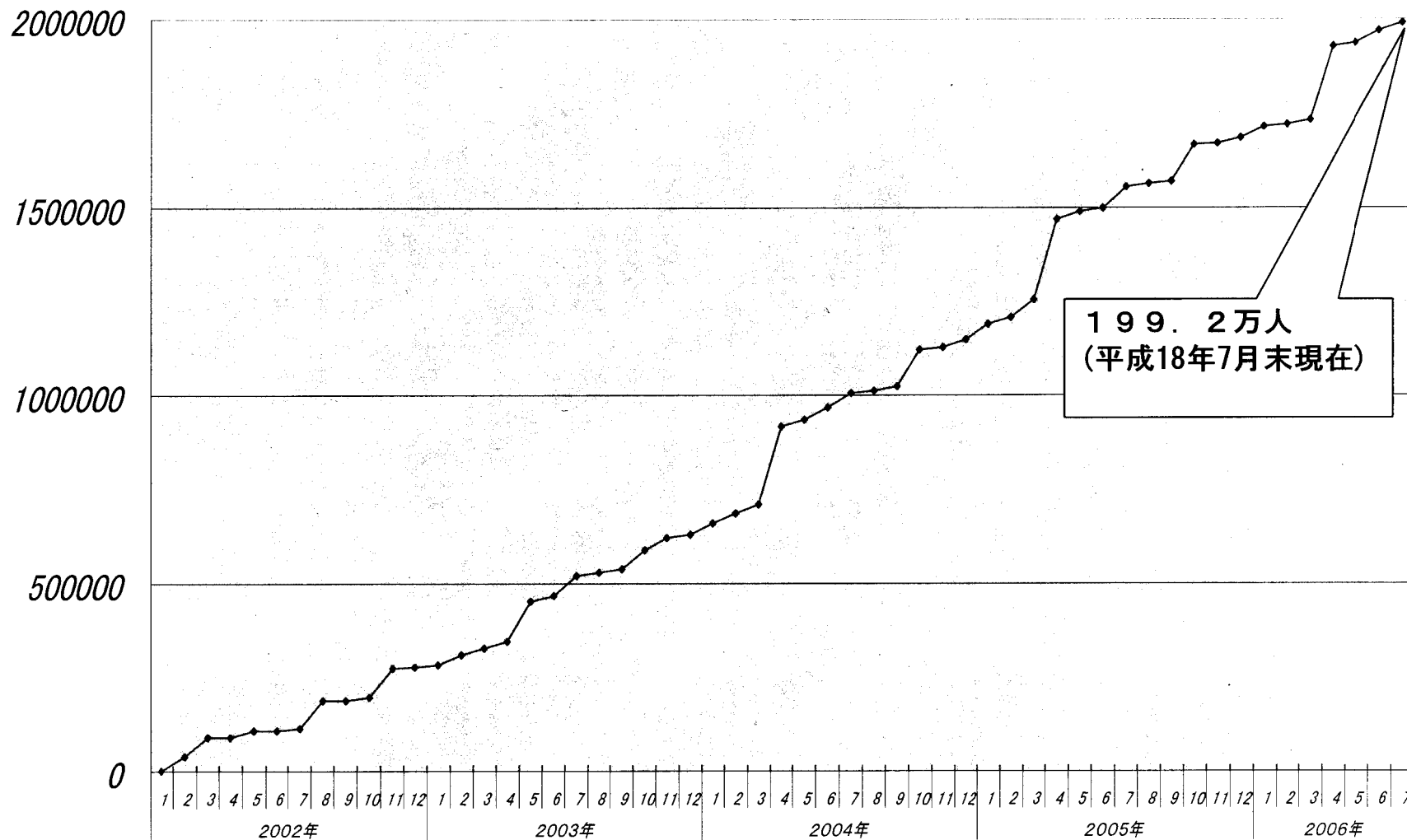
- 自己責任(運用方法を各加入者が決める)
- 個人毎に資産管理(年金資産が個人毎に管理されるので、各加入者が残高を把握できる。)
- ポータビリティ(労働移動が頻繁に行われる業種の人にも年金の確保が可能)
- 企業負担の軽減(経済情勢などの不確定要素に関わりなく、将来の掛金負担の予測が容易)

<拠出限度額>

- 企業型(他の企業年金がない場合) : 4. 6万円
(他の企業年金がある場合) : 2. 3万円
- 個人型1号(自営業者等) : 6. 8万円
個人型2号(他の企業年金がないサラリーマン): 1. 8万円

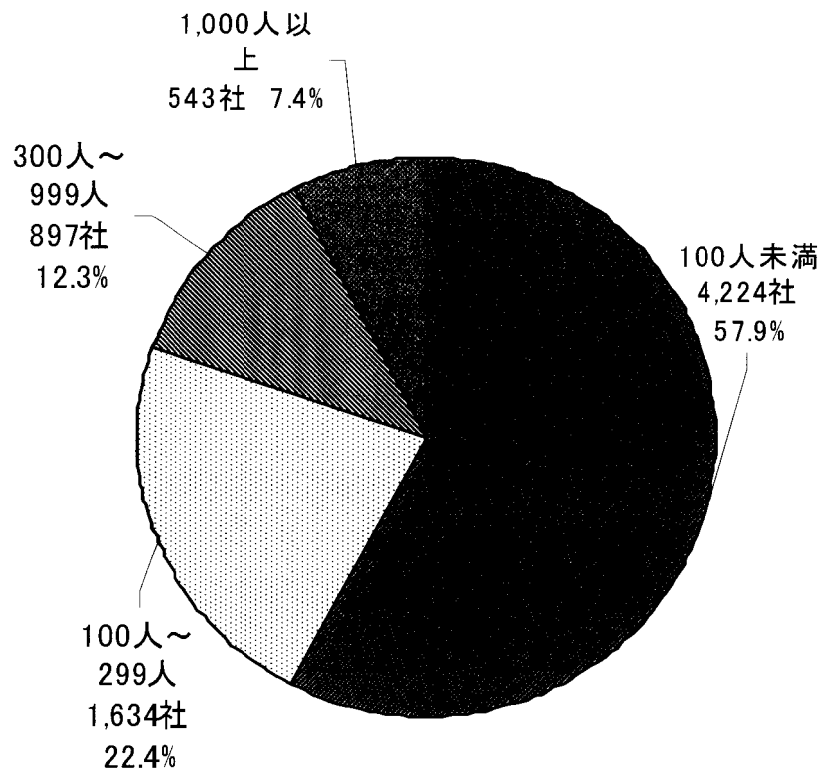
2. 企業型の概要 (1) 加入者数の推移

確定拠出年金企業型加入者数推移

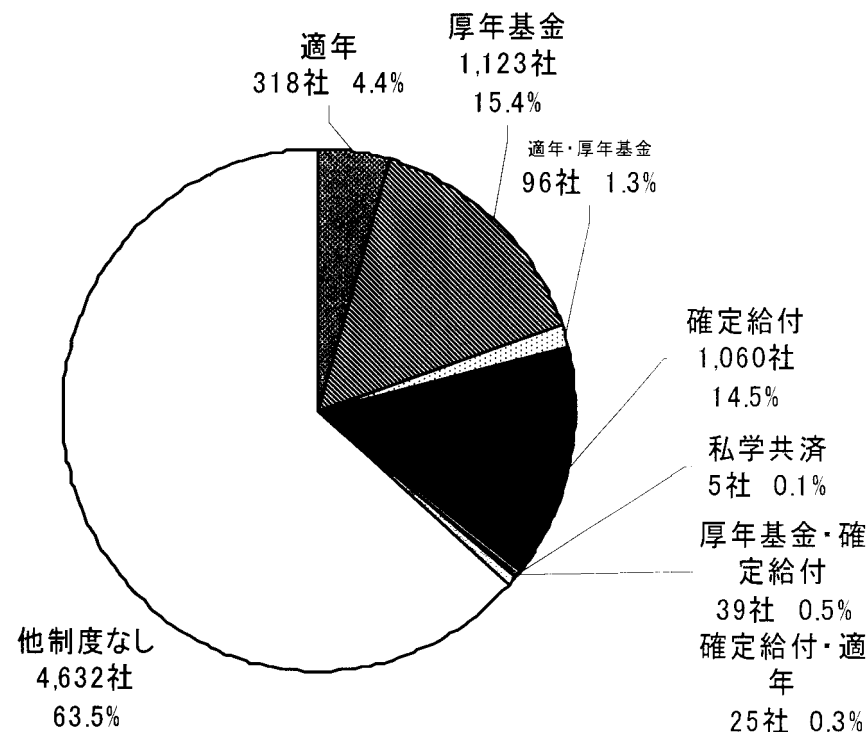


2. 企業型の概要 (2) 従業員規模、実施状況

① 企業型実施企業の従業員規模割合



② DC導入企業における他の企業年金の実施状況



実施事業所 7, 298事業所
 (平成18年8月末現在 厚生労働省年金局調べ)

2.企業型の概要 (3)掛金の状況

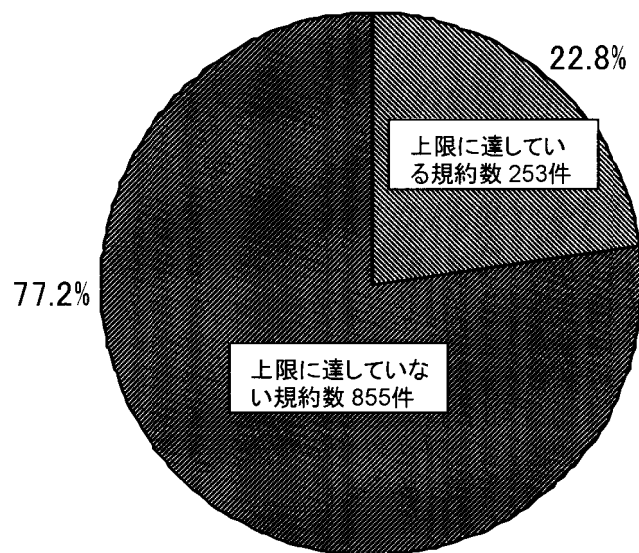
(1)掛金の状況

- ① 平均掛金額(円/月額)11,217円
- ② 個人別管理資産合計金額約2兆1,195億円

(注)平成17年度運営管理機関業務報告書に基づき集計

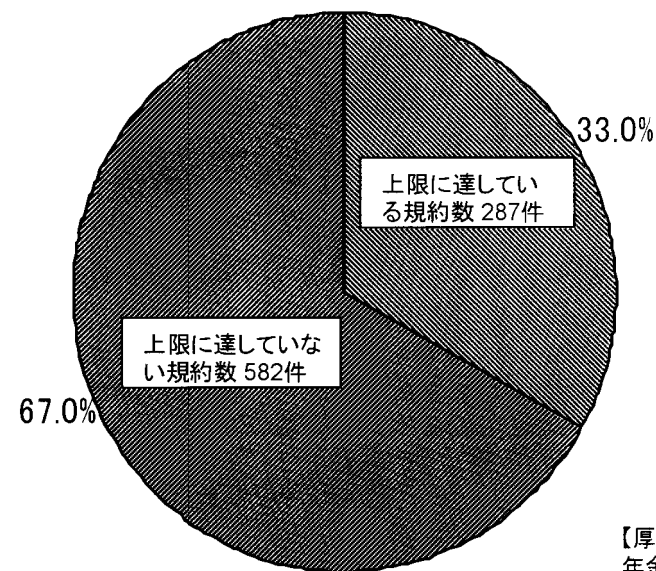
(2)企業型年金規約において掛金の上限が拠出限度額に達している割合 (平成18年7月末現在)

【他の企業年金がない場合】



他の企業年金がない規約数 1,108件

【他の企業年金がある場合】



他の企業年金がある規約数 869件

【厚生労働省
年金局調べ】

2.企業型の概要 (4)運用商品の状況

運用商品の状況

①運用商品(品目数)

| | 300人未満 | 300人以上 | 全体 |
|----|--------|--------|----|
| 平均 | 13 | 16 | 14 |
| 最多 | 42 | 45 | 45 |
| 最小 | 3 | 4 | 3 |

②運用商品の内訳(平均品目数)

| 商品類型 | 300人未満 | 300人以上 | 全体 |
|-------|--------|--------|------|
| 預貯金 | 1.3 | 2.1 | 1.7 |
| 信託 | 0.3 | 0.5 | 0.4 |
| 有価証券 | 9.4 | 10.8 | 10.1 |
| 生保・損保 | 1.7 | 2.1 | 1.9 |

※ 信託:金銭信託

※ 有価証券:金銭信託以外の証券投資信託等

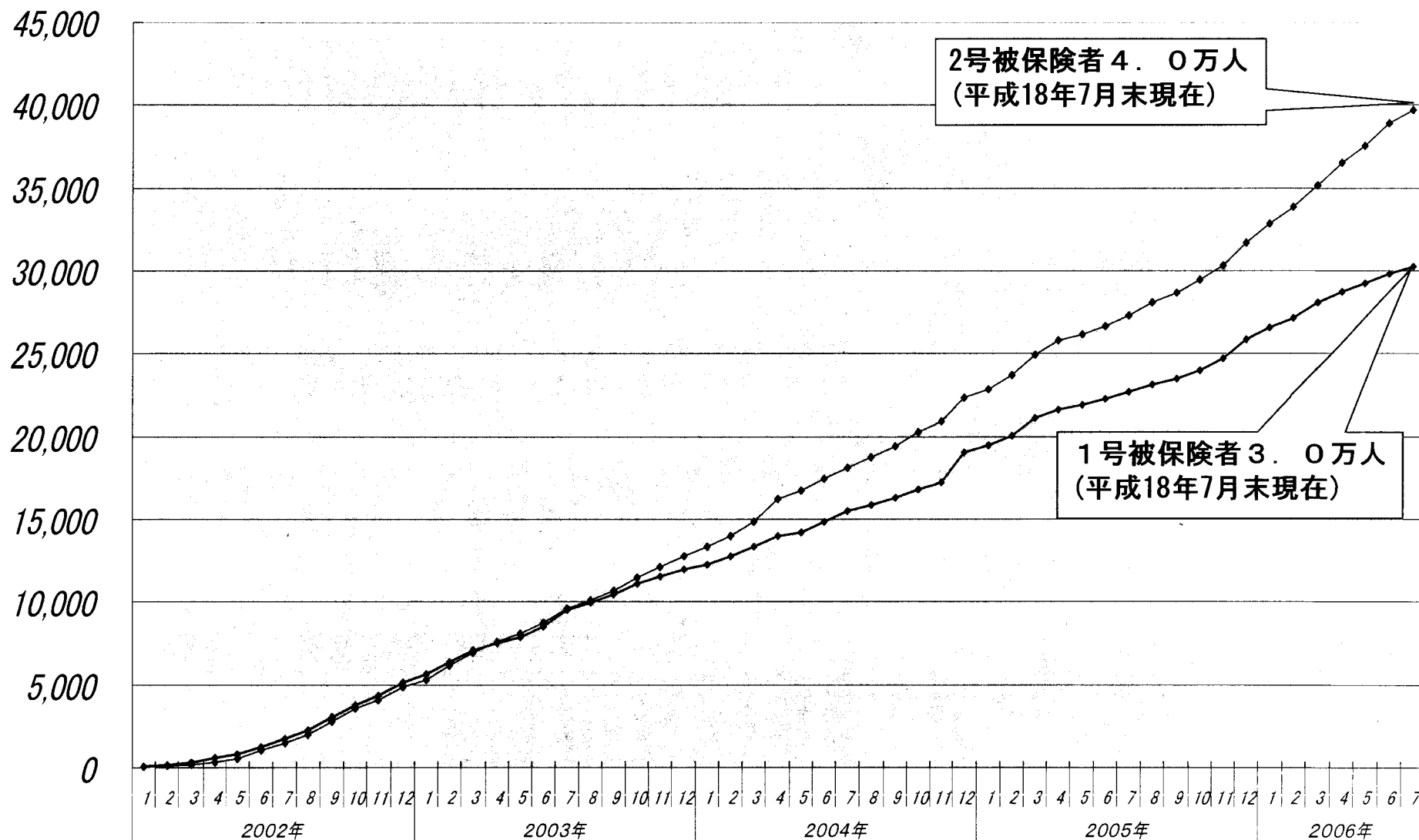
③運用商品の残高割合(%)

| 商品類型 | 合計 | 企業型 | 個人型 |
|-------|------|------|------|
| 預貯金 | 41.2 | 40.9 | 47.6 |
| 信託 | 1.3 | 1.3 | 0 |
| 有価証券 | 38.9 | 39.1 | 34.8 |
| 生保・損保 | 18.6 | 18.7 | 17.6 |
| 計 | 100 | 100 | 100 |

(注)平成17年度運営管理機関業務報告書に基づき集計

3.個人型の概要 (1)加入者数の推移

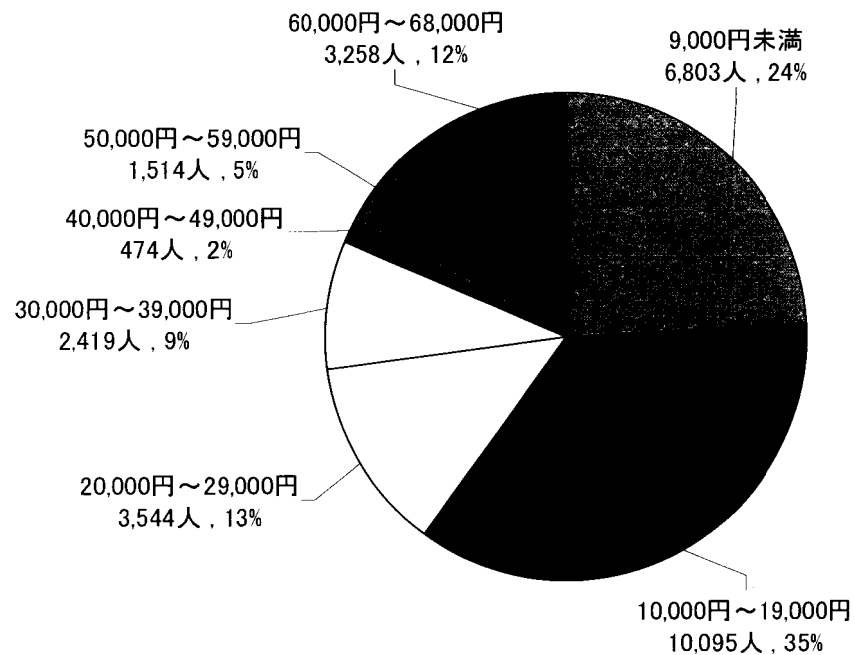
確定拠出年金個人型加入者数推移



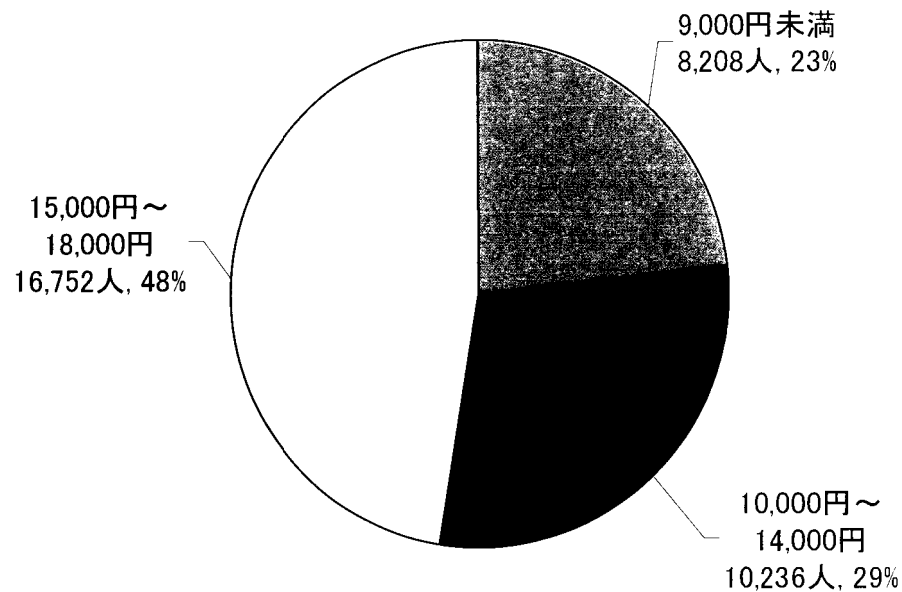
3.個人型の概要 (2)掛金の状況

①第1号被保険者

②第2号被保険者



掛金平均額 21,637円



掛金平均額 12,053円

(平成18年3月末現在 国民年金基金連合会調べ)